

## 日の出医療福祉グループ、障がい者福祉事業を拡大展開

## 第1弾は、捨て犬・捨て猫を救い、空き家活用するグループホーム

## 全国でも珍しい、社会貢献を目指す新しい取り組み

## 【概要】

日の出医療福祉グループは、障がい者福祉事業を拡大展開する。これまでの放課後デイサービス「なえどこ」、就労支援「のじぎく高砂」に加え、9月1日、加古川市に、障がい者グループホーム Hinode-Waon シェアホーム別府」を開設し、10月1日児童発達支援・放課後等デイサービス「SORATO UMIE」、障がい者雇用・定着支援「シャイン(Shine)」を開設予定で準備を進めている。



名称: Hinode-Waon シェアホーム別府

住所: 〒675-0122 加古川市別府町別府961-19

対象: 精神障がい者、知的障がい者、軽度の身体障がい者

定員: 4名まで(現在既に満床、キャンセル待ち数名)

## 特徴:

- ①殺処分される犬や猫を引き取って一頭でも多くの命を救い、入所者様と一緒に暮らして頂く
- ②犬や猫と一緒に暮らすことで、入所者様に、動物介在活動(アニマルセラピー)の効果をもたらす(※動物介在活動: 動物とのふれあいによる情緒面の好作用などを生活の質向上に役立てるもの)
- ③空き家となっている普通の一軒家を活用し、入居者様に自分の家のように暮らしていただく
- ④医療法人社団 奉志会・大西クリニックの訪問医療や精神科訪問看護ステーションと医療連携しており、入所者様、ご家族様ともに安心。
- ⑤山陽電車別府駅まで徒歩5分、勤め先にも通いやすい。

## 背景:

・精神障がい者・知的障がい者が年々増えているのにも関わらず、住まいが不足している

## 今後:

- ・2年以内に障がい者グループホームを5~6か所程度、加古川市・稲美町・播磨町を中心に新設予定。具体的には、2020年11月、加古川市別府町元町(男性棟)、同別府町しのべ(女性棟)を新設予定。
- ・通常福祉人材はなかなか集まらないが、動物と一緒に暮らせる、自分のペットの動物を連れてきてもいいという理由で職員募集には困らないという珍しい状況となっている。

## 本プレスリリースについてのお問い合わせ先

## 日の出医療福祉グループ

広報担当: 中島 史朗(なかしましろう)

Mobile phone: 080-4779-7682

Mail: [nakashima.sr@hinode.or.jp](mailto:nakashima.sr@hinode.or.jp)

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者: 代表理事 大西 壯司

設立: 2016年7月

会員法人: 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人社団 奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス: 介護、保育、医療

事業所数: 148カ所 職員数: 約2900人(2020年7月)

私たちは三方良しの考え「お客様のよろこび 社員のよろこび 地域のよろこび」の精神のもと「よろこびに繋がることはどんどんやっていく」という姿勢で日々仕事をしています。特に今は「働き方改革」に力を入れており、AI面接の導入を進めているほか、週休3日制を検討する等これからも様々な働き方スタイルも提案していきたいと考えています。

